

(別紙1)

令和 6 年 7 月 2 5 日

二本松市議会議長 様

会 派 名 令和創生の会

代表者名 本多 俊昭



研 修 報 告 書

本会派において、下記のとおり研修会に参加したので、報告いたします。

記

1. 研 修 名 自治体・公共 Week2024「地域の未来につながる出会いを」

2. 研修日時 令和6年6月27日(木)～6月28日(金)

1日目 ① 10時00分～11時00分

2日目 ② 12時30分～13時15分

③ 15時00分～16時00分

3. 研修場所 東京ビックサイト西展示場

4. 講 師 等 仙台 市長 郡 和子 氏 他

デジタル大臣 河野 太郎 氏

大阪 市長 野田 義和 氏 他

5. 参 加 者 ①本多俊昭 ②小林 均

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧



視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会

氏 名 本多俊昭

○ 月 日 令和 6 年 6 月 27～28 日

○ 場 所 東京ビックサイト

○ 内 容 自治体 DX 展

○ 視察・研修の感想

特別講演 1, 「地域医療をめぐる課題と取り組みについて」

内閣府特命担当大臣（地方創生）自見はなこ

宮城県仙台市 市長 郡 和子

(一社) 仙台市医師会 会長 安藤健次郎

産学官連携によるイノベーション創出に向けた挑戦～診療カーによるオンライン診療の推進～と題して仙台市が産学官連携で取り組んでいる診療カーによるオンライン診療のプロジェクトの紹介をいただきました。

仙台市は、仙台医師会、東北大学大学院工学研究科、NTT 東日本宮城事業部と連携し診療から服薬指導まで全てをオンライン診療で行う実証実験を行い課題を抽出して更には、看護師が搭乗し医療機器を搭載した診療車両を用いて、患者の状態をより正確に把握するなど、より質の高いオンライン診療の実証実験を行い実現に向けて取り組んでいる。検証結果は、今後、東北地方において深刻化が予想される高齢化や医師不足等、医療にかかる地域課題に生かしていきたいとの講演でした。

特別講演 2, 「日本の DX 推進政策」

デジタル庁 デジタル大臣 河野太郎

日本ではこれまで一切デジタル化や DX を進められていない、という話ではない。日本と諸外国ではデジタル化等に対する考え方捉え方が異なるとのこと

諸外国では、デジタル技術は利益や売り上げを向上させるプロフィットセンターへの投資だと捉えられる傾向があるという。デジタル技術を使って自分たちのビジネスをどう変えるのか、ビジネスモデルの変革にデジタル技術をどのように使うか、という考え方が多いとのこと。一方で日本では、デジタル技術は、業務効率化や工数削減などコストダウン、コストカットの取り組みが多かった。つまり、コストセンターへの投資。当然、コストの削減には貢献するものの売上向上につながるわけではない。日本と諸外国での捉え方の違いが10年、20年と続いてしまった。その結果デジタル化やDXの進み具合が世界と日本で大きく差が生まれた。今後、日本でもDXを進めることで、生産性をどこまで上げられるかチャレンジしていかなければならないとの講演でした。

特別講演3、「ライドシェアで描く地域の未来」

大阪府東大阪市 市長 野田義和

石川県小松市 市長 宮橋勝栄

(一社) シェアリングエコノミー協会 代表理事 石山アンジュ

深刻なバス・タクシー事業者の運転手不足によって夜間を中心とする地域住民の手段の確保が課題となっており、運転手不足は喫緊の課題であり自治体の努力や交通事業者の創意工夫だけでは解決しがたい。そこで、既存の交通事業者との共存共栄を図りつつ、より良い街の未来を描くために、タクシーが不足する地域、時期、時間帯において、その不足分を補うため、タクシー事業者のもとで、地域の自家用車・一般ドライバーを活用して有償で運送サービスを提供するものであり道路運送法第78条第3号の公共の福祉のためやむを得ない場合とする取り扱いとする制度の創設が決定した。小松市では、日常的に移動に不便さを感じている住民や観光客、新しく開通する北陸新幹線で本市を訪れた方々の移動の利便性向上に加え、能登半島地震で被災された二次避難者の方々の移動を確保するため自家用車を活用した小松市ライドシェアを運行した。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

展示会には様々なサービスや実績を持つ出展者が集う展示会。企業の担当者から最新の事例やテクノロジーについて、直接説明を頂いて大変参考になりました。また、特別講演を聞き人口減少により都市と地方では格差が広がり、その

内容は多様化していく。必然的にデジタル化を推進し、国民一人一人が社会の持続性について危機意識を共有し、主体的に行動することが求められる。

研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会

議席番号 17 氏名 小林 均

○ 開催日時 令和6年6月27日(木)～28日(金)

○ 演 題 「地域医療をめぐる課題と取り組みについて」

○ 講 師 内閣府特命担当大臣 自見はなこ

宮城県仙台市長 郡 和子

仙台市医師会会長 安藤健次郎

○ 研修の感想

○地域医療をめぐる課題と取り組みについて

仙台市で取り組んでいる地域医療をめぐる現状を仙台市長 郡和子氏、仙台市医師会会長 安藤健次郎氏、地方創生担当大臣 自見はなこ氏によるスペシャルトークで語ってもらった。

タイトルは、『産学官連携によるイノベーション創出に向けた挑戦～診療カーによるオンライン診療の推進』と題して現在、仙台市が産学官連携で取り組んでいる診療カーを使ったオンライン診療のプロジェクトを紹介していただいた。

仙台市は、仙台市医師会、東北大学大学院工学研究科、NTT 東日本宮城事業部と連携し、診療から服薬指導まですべてをオンライン診療で行う実証実験を行っている。そこでの課題を抽出して、さらに、看護師が搭乗し医療機器を搭載した診療車両を用いて、患者の状態をより正確に把握する等、質の高いオンライン診療の実証実験を行い、実現に向けた取り組みを進めている。

この検証結果を今後、高齢化や医師不足など深刻な問題が山積する東北地方で生かし、医療をめぐる地域課題の解決に結び付けていきたい。との講演内容でした。

本市でも医療過疎が進む東和、岩代地域などを中心に、オンライン診療のシステムを構築できるよう医師会等に働きかけていくことが必要と痛感した。

研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会

議席番号 17 氏名 小林 均

○ 開催日時 令和 6 年 6 月 2 7 日（木）～ 2 8 日（金）

○ 演 題 「日本の DX 推進政策」
～デジタル改革の現状と今後の方向性～

○ 講 師 デジタル庁デジタル大臣 河野 太郎

○ 研修の感想

○デジタル改革の現状と今後の方向性

まず、日本と諸外国での DX に対する考え方・捉え方の違いを明確にし、日本の今後の取り組みについて講演をいただいた。

○諸外国

デジタル技術＝利益、売上を向上させるプロフィットセンターへの投資
⇒デジタル技術で自分たちのビジネスをどう変えるのか、ビジネスモデルの変革にデジタル技術をどのように使うか

○日本

デジタル技術＝コストセンターへの投資⇒コストの削減には貢献するが、売上向上にはつながらない

結論

日本と諸外国の考え方、捉え方の違いが 1 0 年、2 0 年と続いてしまい、その結果として、デジタル化や DX の進み具合に世界と日本で大きな差が生まれることになった。今後、日本でもデジタル化や DX を進めることで、生産性をどこまで上げられるかチャレンジしていかなければならない。本市でも、DX の推進を進めていく必要性を感じる。

研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会

議席番号 17 氏名 小林 均

○ 開催日時 令和6年6月28日(金)

○ 演 題 「ライドシェアで描く地域の未来」
～自治体ライドシェアで築く地域交通の新たな可能性～

○ 講 師 大阪府東大阪市長 野田 義和、石川県小松市長 宮橋 勝栄
シェアリングエコノミー協会代表理事 石山アンジュ

○ 研修の感想

○自治体ライドシェアで築く地域交通の新たな可能性

バス・タクシー事業者の運転手不足で、夜間を中心とする地域住民の交通手段の確保が深刻な課題となっており、自治体の努力や交通事業者の創意工夫だけでは解決が難しい状況となっている。そこで、既存の交通事業者との共存共栄を図りつつ、よりよい街の未来を築くために、タクシーやバスが不足する地域、時期、時間帯において、その不足分を補うため、タクシー事業者の下で、地域に住む一般ドライバーの自家用車等を活用して有償で運送サービスを提供する、日本型ライドシェア（道路運送法78条第3号の「公共の福祉のためやむを得ない場合とする取り扱い」とする制度）の創設が決定した。

小松市では、以前から、夜間を中心とする地域住民の移動手段の確保が課題となっていた。さらに、現在小松市内には多くの能登半島地震の被災者の方が2次避難しており、自家用車を残して避難している方々の日常の移動手段が不足している。そのため、2月29日から当面の間は「復興ライドシェア」と銘打ち、市内に避難している被災者の方には無料で利用いただいた。また、3月16日には北陸新幹線の延伸による観光客も増加し、観光客の方々の移動手段としての役割も果たしている。今後、本市でもライドシェアの本格導入を目指す時期勝ち数いていると感じる。

令和創生の会研修会参加行程表

日時	月 日	行 程			
1	6/27(木)	【JR東北本線】 二本松駅 — 郡山駅 — 東京駅 — 新木場駅 — 国際展示場駅 — 6:23発 6:47/7:02 8:33/8:54 9:04/9:10 9:14着 【徒歩】 【りんかい線】 【JR京葉線】 屋食 国際展示場駅 — 新木場駅 — 潮見駅・ホテル・夕食 17:00/17:04 17:12発 17:15着	【徒歩】 【りんかい線】 【JR京葉線】 潮見駅・ホテル・夕食 17:15着	【徒歩】 【りんかい線】 【JR京葉線】 潮見駅・ホテル・夕食 17:15着	【徒歩】 【りんかい線】 【JR京葉線】 潮見駅・ホテル・夕食 17:15着
2	6/28(金)	【JR京葉線】 潮見駅 — 新木場駅 — 国際展示場駅 — 朝食 9:27発 9:30/9:34 9:38着 【JR京葉線】 【JR新幹線】 新木場駅 — 東京駅 — 郡山駅 — 二本松駅 17:23/17:29 17:39/18:00 19:17/19:43 20:05着	【徒歩】 【りんかい線】 【JR京葉線】 潮見駅 — 新木場駅 — 国際展示場駅 — 朝食 9:27発 9:30/9:34 9:38着 【JR京葉線】 【JR新幹線】 新木場駅 — 東京駅 — 郡山駅 — 二本松駅 17:23/17:29 17:39/18:00 19:17/19:43 20:05着	【徒歩】 【りんかい線】 【JR京葉線】 潮見駅 — 新木場駅 — 国際展示場駅 — 朝食 9:27発 9:30/9:34 9:38着 【JR京葉線】 【JR新幹線】 新木場駅 — 東京駅 — 郡山駅 — 二本松駅 17:23/17:29 17:39/18:00 19:17/19:43 20:05着	【徒歩】 【りんかい線】 【JR京葉線】 潮見駅 — 新木場駅 — 国際展示場駅 — 朝食 9:27発 9:30/9:34 9:38着 【JR京葉線】 【JR新幹線】 新木場駅 — 東京駅 — 郡山駅 — 二本松駅 17:23/17:29 17:39/18:00 19:17/19:43 20:05着

【研修会場】

東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

【視察・研修項目】

自治体・公共Week2024

6/27講演 ①「地域医療スッペシャルトーク」

6/28 ” ②「デジタル改革の現状と今後の方向性」

” ③「自治体ライドシェアで築く地域交通の新たな可能性」

【宿泊先】 アパホテル&リゾート東京ベイ潮見 住所 東京都江東区潮見2-8-6 TEL:0570-056-111

講師 仙台市長 郡和子 他

” デジタル大臣 河野 太郎

” 大阪市長 野田 義和 他



料金後納

ゆうメール

964-0083

福島県二本松市休石原37-2
公明党
二本松市議会議員
小林 ひとし 様

#P000865

VIP招待のご案内

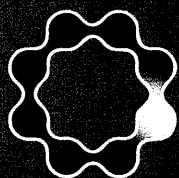
ID:E1487-CON-26824225



a2484220001812a

【差出人】 AD:D

【返還先】 RX Japan(株) DM担当事務局 〒352-0012 埼玉県新座市畑中2-16-32内 AD:D



地域の未来につながる出会いを

自治体・公共 Week 2024

会 期: 2024. 6/26(水) - 28(金) 10:00-17:00

会 場: 東京ビッグサイト 西展示棟

主 催: 自治体・公共Week 実行委員会

企画・運営: RX Japan株式会社

後 援: 総務省、全国市長会、全国町村会

特別後援: (一財)地域活性化センター



無料 3分で完了 事前に来場登録が必要です

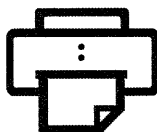
※本ハガキでは展示会場へご入場いただけません。

1 下記コードから来場登録

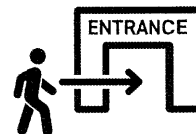


カンタン登録!

2 登録後に発行される
来場者バッジをカラー印刷



3 来場者バッジ提示で
そのまま展示会場に入場



受付に並ばず入場できます

問合せ先 企画・運営: RX Japan株式会社 自治体・公共 Week 事務局

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー11階

展示会に関するお問合せ Tel: 048-233-9478 (受付時間 平日9:00-18:00) E-mail: public-week.jp@rxglobal.com

セミナーに関するお問合せ E-mail: public-week-con.jp@rxglobal.com

この招待券は環境に
配慮し、植物性インキで
印刷しました。



Present 1% for PT
Tree:

私たちは紙の購入金額の1%を森林保全に寄付しております。

自治体・公共 Week とは

自治体・公共向けの6つの専門展示会で構成され、さまざまな製品・サービスが出展。
「住みやすい街づくり」「活性化」「業務効率化」につながる日本最大^{*}の展示会です。

第4回 自治体DX展

- デジタル人材支援
- 各種業務効率化
- セキュリティ

…など

第7回 地方創生 EXPO

- 観光DX
- 地方創生戦略コンサル
- 地域の魅力発信

…など

第3回 地域防災 EXPO

- 防災ICT
- 非常用通信
- 水害対策

…など

第4回 スマートシティ推進 EXPO

- MaaS
- 通信ネットワーク
- ゼロカーボン化

…など

第2回 インフラメンテナンス展

- 点検・診断技術
- 補強材料
- 管理システム

…など

第4回 自治体向けサービス EXPO

- 健康福祉
- 子育て支援
- 施設管理

…など

※ 同種の展示会との出展社数の比較。

最新の公共施策・自治体事例を学べる！ セミナー多数開催

敬称略。順不同。2024年3月19日現在。

地域活性化 国家戦略



内閣官房 内閣審議官(内閣官房副長官補付) /
デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 局長
吉川 浩民

地域における DX人材育成



(一財)全国地域情報化推進協会
理事長
吉田 真貴子

日本の DX推進政策



デジタル庁
デジタル大臣
河野 太郎

スマートシティ 最新事例



群馬県前橋市
市長
小川 晶

いま求められる 地域防災



内閣府
政策統括官(防災担当)付参事官(総括担当)
中尾 晃史

自治体職員様限定 特典をご用意！

【事前申込制】10名様以上のご来場で利用可能



グループ来場特典

- 東京ビッグサイトで使える
ランチ券1,000円分をプレゼント
- バスでのご来場の場合、駐車料金無料

自治体の運営・改善に役立つ情報を発信中！



来場に関する情報はホームページをチェック！

詳しくは▶▶▶

自治体・公共Week

